



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名 株式会社N o. 1 上場取引所 東
コード番号 3562 URL https://www.number-1.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 グループ・CEO (氏名) 辰巳 崇之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員CFO (氏名) 久松 千尋 TEL 03-6735-9979
グループコーポレート本部長
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月15日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	6,584	△0.5	474	△21.0	468	△21.8	356	△36.2
2023年2月期第2四半期	6,618	—	601	62.5	599	55.8	558	169.9

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 360百万円 (△34.4%) 2023年2月期第2四半期 550百万円 (166.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	53.70	53.00
2023年2月期第2四半期	85.22	82.35

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。売上高に影響が生じるため、2023年2月期第2四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	7,436	3,405	44.7
2023年2月期	7,936	3,561	44.0

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 3,325百万円 2023年2月期 3,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	10.50	—	21.50	32.00
2024年2月期	—	16.50	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	16.50	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,373	0.5	1,280	11.3	1,271	11.2	762	△16.4	114.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	6,954,440株	2023年2月期	6,871,520株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	533,410株	2023年2月期	193,410株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	6,633,743株	2023年2月期2Q	6,550,754株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和が進み、経済活動は徐々に正常化に向かうものの、新型コロナウイルスの再拡大への懸念や不安定な国際情勢による世界経済の混乱、世界的な資源高に円安も加わり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

加えて、ここ数年頻繁に発生している自然災害や気候変動等の環境変化、少子高齢化による人口動態の変化と働き方改革への対応など、全産業を取り巻く社会環境は急速に変化しており、企業はこれらの変化をしっかりと見通しながら事業運営を行っていく必要があります。

このような状況の中、当社の祖業であるOA機器市場は、世界的なペーパーレス、電子化などの影響によって市場の成長は鈍化してきております。一方、十数年前より取り組んできた情報セキュリティ機器市場は、中小企業にもIT化が進みつつある近年、サイバー攻撃が徐々に高度化し、各企業にもその対策の必要性が認識され始め、ニーズが顕在化してきました。今後もIoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）及びビッグデータを用いた「第四次産業革命」と呼ばれる全産業のデジタル化が急速に進行し、中小企業においても情報セキュリティ対策の需要は一層高まって来ると予想しております。

当社グループでは、2020年11月に発表した新・中期経営計画において「アレクソン社とのシナジー効果発揮」「ソリューション営業の深化（ストック収益の拡大）」「ハード×ソフト（情報セキュリティ領域の拡大）」「クラウド型サービスの開発」「M&A・事業提携・新規事業」を成長戦略の基礎と位置づけ、2024年2月期を最終年度として、引き続きの事業拡大に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力商品である情報セキュリティ商品などの販売が引き続き順調に推移いたしました。連結子会社である㈱アレクソンにおいても情報セキュリティ商品を中心に好調な販売を維持し、両社共同で開発した商品を当社の販売ルートで拡販するなど、引き続きシナジー効果を発揮することができております。

また、ソリューション営業として2020年9月よりスタートしたコンサルティングサービス「No.1ビジネスサポート」も引き続き順調に契約件数を伸ばすことができしており、今後もビジネスコンサルタントの増員を行いながらサービスのリニューアルを行うことでメニューを拡充し、ARPU（1ユーザー当たり平均売上）の向上に取り組んでいきます。

「ハード×ソフト」については、当社と㈱アレクソンによるマーケットイン型の商品開発に引き続き取り組んでおります。「クラウド型サービスの開発」については、2023年3月よりクラウド業務管理サービス「lagoon（ラグーナ）」の販売を開始いたしました。同サービスは「No.1ビジネスサポート」のリニューアルメニューの一つとして位置付け、中小企業の課題の一つであるインボイス制度及び改正電子帳簿保存法にも対応しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,584,329千円（前年同期比0.5%減）、経常利益は468,421千円（前年同期比21.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は356,252千円（前年同期比36.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末比574,965千円減少し、5,137,698千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少640,921千円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少227,088千円、商品及び製品の増加68,091千円、その他の増加217,015千円によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末比74,527千円増加し、2,298,667千円となりました。これは主に、のれんの増加22,595千円、投資その他の資産のその他の増加46,726千円によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末比229,644千円減少し、2,721,131千円となりました。これは主に、電子記録債務の増加63,996千円、短期借入金の増加60,000千円、未払金の減少223,021千円、未払法人税等の減少66,371千円、その他の減少85,837千円によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末比115,322千円減少し、1,309,472千円となりました。これは主に、長期借入金の減少92,592千円、その他の減少17,089千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比155,471千円減少し、3,405,761千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加212,673千円、自己株式の増加397,438千円、新株予約権の増加12,454千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.0%から44.7%に増加となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、1,679,033千円と前連結会計年度末と比べ640,921千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、33,862千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益641,221千円、減価償却費106,932千円、のれん償却額86,055千円に対し、投資有価証券売却益172,799千円、未払金の減少額211,587千円、法人税等の支払額426,624千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、86,338千円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入172,800千円に対し、有形固定資産の取得による支出76,205千円、無形固定資産の取得による支出26,005千円、子会社株式の条件付取得対価の支払額108,650千円によるものであります。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは、52,475千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、588,446千円の支出となりました。これは主に、長期借入れによる収入100,000千円に対し、長期借入金の返済による支出180,250千円、自己株式の取得による支出397,438千円、配当金の支払額143,275千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月14日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,450,955	1,810,033
受取手形、売掛金及び契約資産	1,952,426	1,725,338
電子記録債権	111,752	148,941
商品及び製品	192,285	260,377
仕掛品	23,400	30,215
原材料及び貯蔵品	750,629	714,212
その他	235,184	452,199
貸倒引当金	△3,970	△3,620
流動資産合計	5,712,663	5,137,698
固定資産		
有形固定資産	728,195	730,058
無形固定資産		
のれん	605,802	628,397
その他	116,195	119,538
無形固定資産合計	721,998	747,936
投資その他の資産		
その他	785,896	832,623
貸倒引当金	△11,951	△11,951
投資その他の資産合計	773,945	820,672
固定資産合計	2,224,139	2,298,667
資産合計	7,936,803	7,436,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	900,193	926,084
電子記録債務	89,788	153,785
短期借入金	—	60,000
1年内償還予定の社債	24,000	24,000
1年内返済予定の長期借入金	331,390	343,732
未払金	710,476	487,454
未払法人税等	380,369	313,997
賞与引当金	35,400	38,142
役員賞与引当金	20,000	—
製品保証引当金	14,856	15,471
その他	444,301	358,463
流動負債合計	2,950,775	2,721,131
固定負債		
社債	61,000	49,000
長期借入金	1,045,311	952,719
退職給付に係る負債	152,237	158,577
資産除去債務	6,845	6,864
その他	159,401	142,311
固定負債合計	1,424,794	1,309,472
負債合計	4,375,570	4,030,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,832	629,982
資本剰余金	669,973	676,124
利益剰余金	2,371,631	2,584,304
自己株式	△178,749	△576,188
株主資本合計	3,486,687	3,314,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,751	4,071
退職給付に係る調整累計額	6,061	7,608
その他の包括利益累計額合計	8,813	11,680
新株予約権	63,158	75,612
非支配株主持分	2,573	4,244
純資産合計	3,561,232	3,405,761
負債純資産合計	7,936,803	7,436,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	6,618,686	6,584,329
売上原価	3,547,665	3,523,207
売上総利益	3,071,020	3,061,121
販売費及び一般管理費	2,470,015	2,586,568
営業利益	601,005	474,553
営業外収益		
受取利息	12	148
受取配当金	193	134
経営指導料	2,500	3,600
保険解約返戻金	1,961	2,506
受取補償金	1,500	—
その他	3,737	4,497
営業外収益合計	9,903	10,886
営業外費用		
支払利息	7,259	6,871
支払手数料	4,364	8,443
その他	242	1,702
営業外費用合計	11,867	17,017
経常利益	599,041	468,421
特別利益		
投資有価証券売却益	—	172,799
事業譲渡益	300,000	—
特別利益合計	300,000	172,799
税金等調整前四半期純利益	899,041	641,221
法人税等	349,275	283,298
四半期純利益	549,765	357,923
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,463	1,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	558,228	356,252

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	549,765	357,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	558	1,320
退職給付に係る調整額	△3	1,546
その他の包括利益合計	554	2,867
四半期包括利益	550,319	360,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	558,782	359,120
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,463	1,670

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	899,041	641,221
減価償却費	101,219	106,932
のれん償却額	66,161	86,055
株式報酬費用	—	16,071
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△172,799
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	△350
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,792	2,742
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,600	△20,000
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△405	614
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,485	8,568
移転損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,774	—
アフターサービス引当金の増減額 (△は減少)	△31,809	—
受取利息及び受取配当金	△205	△145
支払利息	7,259	6,871
事業譲渡損益 (△は益)	△300,000	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	42,926	189,899
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△33,129	△38,489
未払金の増減額 (△は減少)	△64,957	△211,587
前受収益の増減額 (△は減少)	249	△843
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,615	88,852
その他	75,145	△236,462
小計	721,747	467,150
利息及び配当金の受取額	205	145
利息の支払額	△7,177	△6,808
法人税等の支払額	△251,583	△426,624
法人税等の還付額	140,878	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,070	33,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△115,194	△76,205
無形固定資産の取得による支出	△930	△26,005
投資有価証券の売却による収入	—	172,800
子会社株式の条件付取得対価の支払額	△66,390	△108,650
保険積立金の解約による収入	6,102	6,726
事業譲渡による収入	300,000	—
その他	33,813	△55,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	157,400	△86,338
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	60,000
長期借入れによる収入	68,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△118,213	△180,250
社債の償還による支出	△7,000	△12,000
株式の発行による収入	1,280	12,249
自己株式の取得による支出	—	△397,438
配当金の支払額	△104,722	△143,275
その他	△23,383	△27,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△384,037	△588,446
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	377,433	△640,921
現金及び現金同等物の期首残高	1,535,290	2,319,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,912,723	1,679,033

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式340,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が397,438千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が576,188千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算をしております。

(追加情報)

(企業結合に係る条件付取得対価の会計処理)

条件付取得対価は、2020年7月31日に行われた株式会社アレクソンの取得において、株式譲渡契約に基づき、取得後一定の事象が発生することに伴い支払う契約となっておりましたが、第1四半期連結会計期間において、取得対価の追加支払が確実となったため、支払対価を取得原価として追加的に認識するとともに、のれんを追加的に認識しています。なお、追加的に認識するのれんは、企業結合時点で認識されたものと仮定して計算しています。

1. 追加的に認識した取得原価	108,650千円
2. 追加的に認識したのれんの金額、のれん償却額、償却方法及び償却期間	
追加的に認識したのれんの金額	108,650千円
のれん償却額	86,055千円
償却期間及び償却方法	9年間にわたる均等償却

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。